



# 笹中だより

伊丹市立笹原中学校 学校通信  
第11号 令和3年1月7日  
編集責任者 校長 藤口 太志

## あけましておめでとうございます！

～ 3年生は44日！ 1・2年生は54日！ ～

あけましておめでとうございます。コロナ禍のお正月をどのように過ごされましたか？ご家族での時間をゆっくりと過ごせましたでしょうか？さて、3学期がスタートしました。

3学期は、1年間の総まとめをするとともに、来年度に向けての準備の期間となります。副題にもありますように、**3年生が、卒業式までに登校する日数が44日、1・2年生が、修了式までに登校する日数が54日**、となります。2学期の授業日数が80日だったのに比べると、ほぼ半分しかありません。今まで以上に、色々なものごとに計画的に取り組んでください。

### 【干支は辛丑！：2021（令和3年）は「うし年」】

2021年は十干が「辛（かのと）」、十二支が「丑」の年にあたるので、干支は「辛丑（かのとうし）」となります。「丑」ってどんな意味？

「丑」は中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の意味が与えられました。

「牛」は古くから肉牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。



### 【3学期の目標】 ～ 3つの〇〇〇ワーク ～ — 「有終の美」を飾るために —

<始業式校長講話より抜粋>

さて、今日から、3学期がスタートします。3学期のスタートにあたって、みなさんをお願いしたいことをお話します。

それは、笹中生のみなさん全員が、「有終の美を飾ってほしい」ということです。

「有終の美を飾る」とは、「物事をやり通し、最後を立派に仕上げること。結果が立派であること。」です。それをお願いしたいのです。

では、具体的にどうすればいいのか？簡単なことなんです。そこで、冬休みの宿題の答え合わせです。〇〇〇ワークを、3つ考えてきてくれましたか？

どんな〇〇〇ワークが、出てきたでしょうか？

では、私がお願いしたい3つを言います。

- 1. フットワーク 2. ハードワーク 3. チームワーク の3つです。

1つ目の「フットワーク」は、まず、やってみる、ということです。言い訳をしない。とにかくチャレンジ、とにかくトライすることです。

例えば3年生であれば、入試に向けて、「学校に朝早く来たり、放課後学習や、休みの日も面接・論文練習をする」「スマホやゲームを1時間短く制限して、家での勉強時間を増やす」。

1・2年生であれば、「体力をつけるために毎日走る」「毎日家で腹筋100回する」「家庭学習は何があっても1時間はする」などなど。

どんなにいい目標を立てても、実行しなければ進歩することはありませんし、成長もありません。さらに、もっとよくないのが、言い訳をして実行をしないことでしょう。

2つ目の「ハードワーク」は、先ほどの「フットワーク」つながるのですが、やるからには徹底的にやる、全力でやる、中途半端にしない、ということです。今シーズンで引退するスポーツ選手が何人もいますが、インタビューで、「悔いはありません。なぜなら、自分ができることはやり切ったからです。」と答えている方が何人もいました。

入試や試合の結果は、良いに越したことはありません。しかし、現実には、全てが良い結果になるとは限りません。けれども、取組の段階で「ハードワーク」をつきつめた人には、また、次のチャンスが来たときに活かせる力が身についています。

最後に3つ目は、「チームワーク」です。一人では解決が難しいことでも、友人・クラス・学年・学校・部活動・家族・地域など、多くのサポーターがいます。チームとして取り組めば達成できることもたくさんあります。

以上、3つの〇〇〇ワークでしたが、みなさんの予想は当たっていましたか？それでは、3学期、これら3つのワークを、

### 「授業」「行事」「部活」「進路」

の4つの場面で発揮し、「有終の美を飾って」ください。

### 【部活動・コンクールの誉れ】

<団体の部>

〇女子バスケットボール部 第3位（市内中学校新人体育大会）

〇吹奏楽部 兵庫県アンサンブルコンテスト 東阪神地区大会

金賞 管打7重奏 チーム

金賞 管打6重奏 チーム



★上記2チームともに、東阪神地区代表として、1月16日（土）高砂市文化会館で開催されます「第48回兵庫県アンサンブルコンテスト」に出場します。応援よろしくお祈りします。

<個人の部>

〇水泳 竹内慶悟 第8位入賞  
（2020年度 全国JOCジュニアオリンピックカップ 中学校男子400mメドレー）

